

## 父との約束

藤田 咲良

私の父は、遠くはなれたベトナムという国ではたらいでいる。もうすぐ四年になる。私たちも二年間ベトナムでくらしていた。でも一年前、母と私と妹だけ先に帰国することになった。早く日本に帰りたいという気持ちと、父とおわかれしたくないという気持ち halves だった。私たちが本帰国する日、父と私は一つの約束をした。

「咲良が泣くとパパも泣いちゃうから泣かないでね。また会えるんだから笑顔でバイバイしようね。」

と父は言った。それを聞いて私はうなずくのがやっとだった。でも空港でわかる時、やっぱり私はがまんができなくて泣いてしまった。父はこまった顔で私の顔をじっとみていた。たぶん父も泣いていた。

あれから一年がたった。私はいつもねる前に父のことを考える。私が母におこられた時に父が頭をなでてくれたこと、父

と二人で自転車に乗って金魚を買いに行ったこと、プールで私を投げとばしてくれたこと。父のことを考えていると父に会いたくなる。

父は一年に二回ぐらい日本に帰ってくる。今回は、七月十九日から一週間出ちようで帰ってきた。やっぱり父が家にいてくれるだけで家の中が明るくなったような気がした。いっしょにごはんを食べたり、いっしょにおふろに入ったりするだけで本当に幸せだなと思った。私は、いまだに父とバイバイする時は、なみだが出てしまう。父の姿がみえなくなると大声で泣いてしまう。そんな時、私と妹を母がだきしめてくれる。

パパ、約束を守れなくてごめんね。早く本帰国して日本にもどってきてね。パパ、いつも私たちのために働いてくれてありがとう。パパ大好き！